

去る3月27日(土)、長野県数協の「春が来た! 学習会」を、松本市のあがたの森文化会館で開催しました。全国高校集会等と会合が重なり、参加者はやや少なめの6名でしたが、参加者一同からレポートの提案があり、盛り上がった学習会となりました。

特に上伊那の有賀さんは、筑波大学の三谷先生の著書「立体折り紙とコンピュータ」の中に収録されている作品をすべて作ったということで持参していただきました。写真で見ると「すごい!」という感じがする三谷先生の作品ですが、実物を手にとってみると、ますますすごい! みなさんも、よろしかったら挑戦されてはいかがでしょうか。



また宮下さんからは「対称」の話、特に<ふしぎな絵>のお話はおもしろかったです。著作権の関係で絵を紹介できないのが残念ですが、たとえば「3個のピラミッド」というお題がついているある絵に対して、適切な位置に鏡を立てると、お題にあった絵が登場するというしかけです。

そのほかに、宮川さんからは、画びょう投げの実験を交えた確率の話、小林からは、3辺の長さが8cm, 9cm, 4cmの三角形の作図(三平方の定理の逆)、大谷さんからは「ウルトラマンA(エース)」に登場する「超獣」の身長から、資料の活用の話、また先の有賀さんからは、 2^{20} の値や、 $1 \div 17$ の小数值を、電卓を使って求める方法を紹介していただきました。8けたしかない電卓をうまく使うと、なんと、何十桁もの数を求められるなんて、驚きでした(紙面の都合で具体的な内容までご紹介できませんが、興味のある方は有賀先生に直接ご連絡ください。連絡先は、長野県数協事務局の小林一久までお問い合わせください。)

小林一久: y m p r c 5 1 9 @ y b b . n e . j p